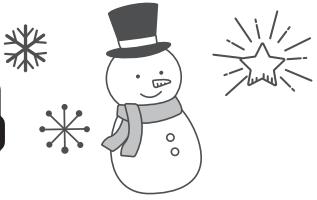


スコーレ映画サロウのお知らせ vol.304



◆日 時：2025年12月21日(日) 14:00～18:00

◆会場：名古屋国鉄会館

(わからない方は10分前にスコーレに集合またはお問い合わせください)

※映画サロンは禁酒禁煙です。

◆参加費：1000円(初参加の方は無料です)

課題映画

- ▶ **エディントンへようこそ**
(12/12よりミッドランドスクエアシネマほかにて公開)
 - ▶ **兄を持ち運べるサイズに**
(11/28よりミッドランドスクエアシネマほかにて公開)

サロンメモ

「ハードトゥルース・母の日に願うこと」には戸惑いの意見が多かった。あの強烈な主人公をどう捉えたらいいのか。これまでのマイク・リー作品との対比、ラストカットの意味、息子への希望等と様々。更に、どうにもあの悪態だらけの攻撃性は受け付けない、ああなるには事情がある、サブタイトルにミスリードされたなどなど。私はマイク・リー監督の実験的な純粋映画じゃないかとすら思ったのだが。強いインパクトを残す映画であるのは間違いない。

「爆弾」は評価が分かれて面白かった。犯行の運びの描写の雑さや動機の不明瞭さを指摘する意見はいくつかあったが、取り調べ室でのやりとりがメインなのでそこは気にならないという感想もあつた。多くの人が佐藤二朗の演技に触れていたのは至極当然か。もちろん好意的な意見ばかりではなかつたが。

次回のアリ・スター監督はサロンで初めて取り上げる。手強い映画だろうから楽しみだ。(小西)